

第 312 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2015 年 3 月 6 日 (金) **18 時 30 分~20 時 00 分** *開催時間変更

場 所: 実習館 2 階 総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: **渡邊 泰雄 氏** (横浜薬科大学健康薬学科・主任教授)

タイトル: **統合医療における漢方薬と機能性食品の効用**

統合医療学とは、西洋医学のみならず、「食」も含めた伝承医学も統括した「全身医療学」である。漢の時代に、医業の一つとして「食医」があった。この位階は、内科医、外科医、獣医よりも高く、支配者の専属医師でもあった。彼らは、代々続く支配者の罹患した疾患を記録しており、誕生と共に「医(薬)食同源」の考えで治療を行なったと謂われている。一方、現在ではヒトの遺伝子配列が殆ど明らかとされ、発症する疾患と家系との関連性が科学的にも実証されつつある。本論は、三代に渡る家系で発症した疾患の例を挙げて共通する原因を究明し、治療として医薬品を使用するのではなく、漢方や機能性食品(トクホも含む)、そして、食事・運動療法や民間療法を主とした補完医療を行なう可能性を説明する。さらに、超高齢化社会の現代では各種の原因不明な疾患(未病を含む)が発症することからも、現代の治療法のみでは克服出来ない疾患が多い。このような疾患を機能性食品や食材で克服できる可能性を科学的に実証する。まとめとして、医療の現場で戦う歯科医は、将に、「全身医療」を基盤とした口腔内の治療を進めて頂きたい。その一つとしての「医(薬)食同源の医療における活用」を理解されることが本論の主目的で有る。

略歴

1975 年 3 月	北里大学大学院修了
1975 年 4 月	東海大学医学部精神科助手
1982 年 9 月	米国イリノイ州イリノイ大学 Post doctoral fellow, Research Assistant Professor
1985 年 1 月	東京医科大学薬理学助手
1986 年 3 月	東京医科大学薬理学講師
1986 年 7 月	米国国立保健研究所: NIH/NIAAA, Visiting Scientist
1987 年 7 月	米国イリノイ大学医学部ロックフォード, Research Associate Professor
1993 年 3 月	東京医科大学薬理学助教授
2005 年 4 月	日本薬科大学 主任教授
2013 年 4 月	横浜薬科大学 健康薬学科 主任教授 総合健康メディカルセンター 所長

現在に至る

担当: 硬組織疾患制御再建学講座 各務 秀明